

令和4年度 学校関係者評価報告書

1 学校の教育目標

自動車・機械・建築及び情報処理・生命工学を中心とする工業分野で役立つ人材を育成し、我が国の産業の発展に寄与する。

2 学校の教育目標や計画に対する評価・意見

(1) 個性の伸展について

一人ひとりが他の人にはない、真似のできない個性を尊重して教育されている。

(2) 資格の取得について

・各学科で目標とする資格が不明確な感じがする。

・各種資格における受験率・合格率が満足と言える状況ではない。

(3) 社会人の事前教育としてビジネスマナー教育を有効に活用し、企業人として社会に送り出せる態勢が取れている。

(4) 勉学意欲旺盛な留学生の入学により、国際的な感覚を持った社会人の育成に努力されている。

(5) 豊かな人生を送るための素養について、概ね涵養されている。

3 評価項目の達成及び取組状況

< 評価点 : 4 適切、 3 ほぼ適切、 2 やや不適切、 1 不適切 >

(1) 教育理念・目標	: 3.8
(2) 学校運営	: 3.6
(3) 教育活動	: 3.5
(4) 学修成果	: 3.5
(5) 学生支援	: 3.4
(6) 教育環境	: 3.8
(7) 学生の受入れ募集	: 4.0
(8) 財務	: 4.0
(9) 法令等の遵守	: 3.8
(10) 社会貢献・地域貢献	: 3.3
(11) 国際交流	: 3.6

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1) 良好な点

- ア 担当講師と調整を取り、逐次改善しながら学生ファーストの考えで教育が実施されている。
- イ フレッシュな講師を多数採用し、学生目線での講義が実施され、活気を感じられるようになった。
- ウ 視聴覚教材を利用し、誰もが理解しやすい教育が実施されている。
- エ 就職活動については就職課、クラス担任が一体となって学生を支援できていると感じる。
- オ コプロ・ホールディングスと産学連携の締結を行ったことで、学生たちが実社会に、触れやすい環境づくりができています。また、企業奨学金制度も確立され、より学びやすい環境を提供できています。
- カ 名古屋駅周辺地区の都市再生保全確保計画の大規模震災時における臨時退避施設（一般教室の提供）に参加するなど、地域社会への貢献に努めている。
- キ 中期（5年）の経営改善計画を策定し、具体的な取り組み、実績・成果及び評価・改善がされている。

(2) 改善すべき点（要望・意見含む）

- ア 昨年からの導入を進めている校務システムについて何度も実務担当者同士でミーティングを行ったようだが、有効活用ができていないようである。
- イ 留学生の日本語能力向上に努める必要がある。
- ウ 引き続きインターネット環境を整備していく必要がある。
- エ コロナウイルスの関係で、出席停止となった学生への教育に関する配慮をもう少し検討する必要がある。